

講義名	経済情報処理Ⅰ			
科目区分	基幹			
担当教員	森澤 龍也			
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 1時限	授業形態		
履修開始年次	2年生	単位数	2	備考

主題と概要				
<p>現実の経済について論じるときには、単なる思いつきや現実の動きを無視した議論を避け、証拠（データや資料）に基づいて議論することが重要である。また、効果的な情報伝達（プレゼンテーション）を行うことで、伝えたい内容を相手に的確に伝えることが必要となる。この講義では、PC教室での実習を通じて、経済分析を行うために基礎となる情報処理能力の修得を目標とする。</p>				

到達目標				
<p>(1) 表計算ソフト（エクセル）の基本的な操作方法（データの入力・計算、表・グラフ作成、関数貼り付けなど）を習得できる。 (2) ワードプロソフト（ワード）文書の基本的な作成方法（プレゼンテーション資料の作成、表・グラフの貼り付けと整理など）を習得できる。 (3) 経済学の基礎的な概念（単利・複利・割引現在価値など）を習得できる。</p>				

提出課題				
講義時間中に実習課題を提出する必要がある。また、講義期間中に中間確認演習を実施する。				

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック				
講評・解説を行う。				

評価の基準				
講義参加・講義中課題：35% 中間確認演習（3回）：30% 定期試験：35% ※欠席・遅刻は減点対象である。				

履修にあたっての注意・助言他				
<p>当科目はPC実習科目であり、教室・設備の制約上、事前登録が必要な科目である。履修に当たっては十分に注意されたい。 講義開始時に出席確認および教材ファイル配布をPCシステムにて行うので、講義開始時間前に入室し、開始時点で各自のPCが使用可能な状況にしておく必要がある。遅刻者に対しては特に考慮すべき理由がない限り、教材を配布しないので、十分に注意されたい。また、USBメモリなどの保存用メディアを持参されたい。 出席重視科目である。また、講義時間外に各自よく復習してほしい。 講義中での私語は厳禁である。質問は遠慮なく尋ねられたい。</p>				

教科書				
『レクチャー&エクササイズ金融論』	森澤龍也	新世社	2200円+税	978-4-88384-222-3

プリント資料及び参考文献				
担当者作成の教材ファイルを配布する。 参考文献については講義中に適時、紹介する。				

授業計画				
1 経済情報処理序論 2 グラフ作成の基本① 3 確認課題と解説① 4 グラフ作成の基本② 5 確認課題と解説② 6 中間確認演習① 7 プレゼンテーション資料の作成① 8 プレゼンテーション資料の作成② 9 中間確認演習② 10 表計算の基本①：金利計算 11 確認課題と解説③ 12 表計算の基本②：割引現在価値 13 確認課題と解説④ 14 中間確認演習③ 15 総復習課題の演習				

授業形態（アクティブ・ラーニング）				
ア	PBL（課題解決型学習）			
イ	反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）			
ウ	ディスカッション、ディベート			
エ	グループワーク			
オ	プレゼンテーション			
カ	実習、フィールドワーク			

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間				
総予習（教科書精読） 5時間 予習 1.5時間/回×15回 復習 1.5時間/回×15回 試験用学習 10時間				

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述				
適宜、質問・疑問点を募りながら、PC実習を行う。				

実務経験の有無及び活用				

備考				
当科目は経済学部経済情報学部の必修科目である。（経済学部経済学部の展開（選択）科目である。）				